

# 金融機関を支えるデータベースの提供



SHIMAZU ATSUYOSHI

## 島津 敦好

株式会社カウリス

代表取締役



# CAULIS

創業前にセキュリティサービスを提供する中で、認証技術はハッキングを行われうる技術であり、かつデバイスによって利用できる技術も異なるなどの限界点に直面しました。認証ではなく、普段の振る舞いをデータベース化し、異常を検知するサービスの方が事業継続性が高いという仮説を持ち、カウリスを創業いたしました。

.....

### ●PROFILE

[1978年生まれ] 京都大学卒業後、株式会社ドリコムに入社。セールス担当として、同社IPOを経験。2010年、オンライン英会話学習のロゼッタストーン・ジャパン株式会社入社。法人営業部を立ち上げる。2014年よりCapy社入社。事業部長として不正ログイン対策のソリューションの提案を大手企業に提案。同時にメディアを通じたセキュリティ意識向上の啓蒙活動を実施。2015年12月、株式会社カウリス設立。

### ●座右の銘

GRIT

### ●会社所在地

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4F FINOLAB内

### ●事業紹介

不正アクセス検知サービス「Fraud Alert」の開発・提供。

### ●創業年

2015年

### ●コメント

インターネットの急速な広がりによって、金融機関のオンラインサービスにおいて、なりすまし等の不正が拡大しています。実際にクレジットカードの不正使用金額は、2012年は68億円でしたが、10年後の2022年には約7倍の450億円を越えています。当社では、このような不正を検知して、皆さまが安心して金融機関のサービスを利用できるように不正アクセス検知サービス「Fraud Alert」を提供しています。

## 会社の特徴

### 日本のマネーロンダリング対策の インフラを目指す

弊社は約40名のスタートアップ企業ですが、ビジネスチームとエンジニアチームが一丸となって、金融犯罪の課題を解決するために、不正アクセス検知サービスの提供をしています。また、社内だけでなく、顧客である金融機関や監督省庁である金融庁とも情報連携を行ない、国民の財産を守るための活動を行なっています。



# FraudAlert

▲ カウリスが提供するサービス

## 事業・サービスの強み

### Fraud Alertユーザー企業間での ブラックリストを共有

最大の特徴は、実際に不正が行われた端末情報を、ブラックリストとしてユーザー企業間で共有できることです。金融犯罪は日々、手口が変化するため、金融機関が1社1社で不正対策を行うことは容易ではありませんが、ブラックリストをユーザー企業間で共有することで、不正を未然に防いだり、二次被害を抑えています。

40社以上の金融サービス提供事業者間で、  
ブラックリスト端末情報を連携



▲ 業界を横断して情報を共有